



## 評 定 書 (工法等)

申込者	株式会社熊谷組	代表取締役社長	櫻野 泰則	様
	青木あすなろ建設株式会社	代表取締役社長	辻井 靖	様
	株式会社安藤・間	代表取締役社長	福富 正人	様
	大木建設株式会社	代表取締役社長	石川 徹	様
	株式会社銭高組	取締役社長	銭高 久善	様
	前田建設工業株式会社	代表取締役社長	前田 操治	様

件 名 HR パイル工法

平成31年2月8日付けで評定の申し込みのあった本件については、下記のとおり評定申込事項に係る技術的基準に適合しているものと評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成36年2月26日までとします。

平成 31 年 2 月 8 日



記

### 1. 評定申込事項

本件は、「杭頭接合工法評定基準（平成 13 年 2 月 21 日制定）」に係る評定の申込みがなされたものである。

### 2. 区分 更新

### 3. 評定をした構造方法等 別紙1のとおり

### 4. 評定の内容

#### (1) 方法

本評定は、基礎評定委員会（委員長：安達俊夫）において、申込者から提出された資料に基づき審査を行ったものである。

#### (2) 審査内容

別紙2のとおり

### 5. 備考

本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の製品の製造並びに工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。

## 基礎評定委員会評定申込シート

申込者名	熊谷組, 青木あすなる建設, 安藤ハザマ, 大木建設, 銭高組, 前田建設工業		
案件名	HRパイル工法		
評定区分	<input checked="" type="radio"/> 一般・個別 / 新規・追加・変更・ <input checked="" type="radio"/> 更新         (該当する区分に○を付けて下さい。)		
案件の分野	くい頭接合法         (下記の案件の分野の例を参考に記載して下さい。)		
案件の概要	<p>本工法は、場所打ちコンクリート杭の余盛コンクリートを除去した上に、凸型の杭頭接合部を築造した杭頭接合法である。杭頭接合部は、杭軸部と同断面積の接合部本体と1/2の断面積の突出した接合部から成る。杭頭接合部の回転剛性は、杭頭に作用する荷重が杭頭接合部の回転に応じて、支承面あるいは支承面と芯鉄筋の両者を介して各構造部材へ伝達される機構によって生じる。</p>		
既評定又は類似案件の評定取得状況	評定番号	評定年月日	案件名
	FD0202-01	平成17年2月23日	HARP工法の杭頭接合部の回転性能に関する一般評定
	FD0202-02	平成17年8月24日	HRパイル工法の杭頭接合部の回転性能に関する一般評定
	FD0202-03	平成18年2月24日	HRパイル工法の杭頭接合部の回転性能に関する一般評定
	FD0202-04	平成21年2月27日	HRパイル工法
	FD0202-05	平成25年8月23日	HRパイル工法
	FD0202-06	平成26年2月27日	HRパイル工法
特に審議を希望する点等 (変更項目・内容等)	特になし		

## 案件の分野の例：

PHCくい、STくい、節くい	場所打ちコンクリート地中壁
PRCくい、CPRCくい、SCくい	場所打ち鋼管コンクリートぐい
基礎ぐいの無溶接継手	基礎ぐいの支持力（引き抜き方向）
PC鋼材の高温リラクセーション値	基礎ぐいの支持力（回転貫入ぐい工法）
くい頭接合法	擁壁
場所打ちコンクリート拡底ぐい	その他（具体的に）